整理番号:059

日本航空健康保険組合(JAL健保)様と婦人科検診受診率向上プロジェクト

取組開始 時期

2015年3月

取組の カテゴリー

健康福祉

1. 団体名

株式会社ヘルスケアシステムズ

2. 連携先 の団体

大塚製薬様、日本航空健保組合(JAL健保)様

3. 取組 目的

女性の婦人科検診の受診を上げて健康予防支援

4. 関連する ゴール







|5. 取組詳細(取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等)



婦人科検診を受診 するのが面倒だし 時間がない



女性が長く働ける環 境を整えたい。 自身の健康状態を 知ってほしい

方法

ステップ1: 興味喚起

ステップ2:女性ホルモンの学習

ステップ3:検診告知

結果通知



JAL健保から女性社員 先着1.000名募集

ソイチェック®と同時に生活習慣、婦人科

検診、女性ホルモンのアンケート実施







ソイチェック®の結果通知の際に、女性

ホルモンとエクオールの冊子を同封





125%

動画による教育

女性ホルモン、婦人科検診のDVD

を社内イントラ従業員教育で放映





2015年度婦人科検診受診率

地域ごとの日程を分けて通知 検診のイベント情報も添えた

(期間:2015年3月~2016年4月)

121%

検査キットを購入

カラダチェック発注書にてFAXまたはメールでご発注ください

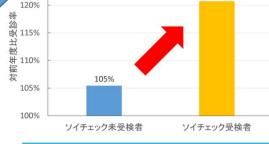


尿を採取

ポストへ投函

ご自宅にて、随時尿を採取

女性ホルモン 興味関心UP リテラシーUP



ソイチェック®受検者では婦人科検診受診率 が大幅に上昇した。

キット同梱の"返信封筒"に入れて、郵便ポストへ投函



☑ 測定後、結果送付

約1週間で郵便で結果が届きます

取組のポイント(3つの視点)

地方創生SDGsの視点

ゴール3:男性だけではなく、女性特有の健康 状態を理解し平等に健康へ

ゴール4:女性ホルモンの高度な知識提供

ゴール5:女性のライフステージを理解した上で、 今まで男性が長く働くイメージだったが、女性

も平等に働ける社会へ

ゴール8:女性がが長く元気に働くために、セミ ナーから不安や知識不足の解消・予防へ

ステークホルダーとの連携

健康施策に「女性の健康 |を掲げる日本航 空の健康保険組合でエクオール検査「ソイ チェックトを活用した乳がん検診受診率向上 プログラムを実施。

モデル件・波及件

郵送検査を用いて、簡易的に尿を検査、結 果を通知後、セミナーによる教育。

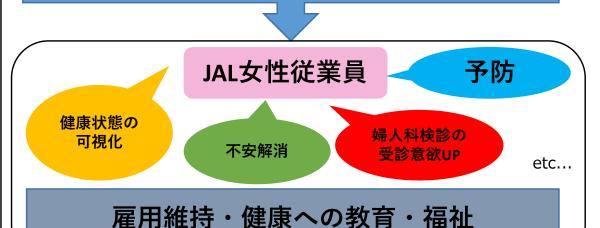
〈成果〉

受診者の婦人科検診受診率の伸び率を比 較したところ前年比121%と未受検者が同 105%に対して20%も上昇。

自由記述欄

・ステークホルダーとの連携体制図

郵送で尿を分析・結果通知・健康セミナー ヘルスケアシステムズ



・2030年までに目指すべきゴールイメージやありたい姿

自身の健康状態を簡易的に知り、 確かな知識を提供することで、 楽しく健康に、長く元気に働ける社会を目指す。

・取組に関連するホームページのURL

日本航空健康保険組合URL:

https://jalkenpo.jp/mail/pc/index.php?year=2017&month=1&day=18&c=9

ヘルスケアシステムズURL:

https://hc-sys.com/case/case-15/

尿中エクオール検査『ソイチェック®』を用いた、婦人科検診 受診率向上への取り組み ■ Healthcare Systems Otsuka



○細谷 吉勝1、石川 大仁1、瀧本 陽介1、北野 祐子2、細川 圭輔2、浦井 典子3 1株式会社ヘルスケアシステムズ、2大塚製薬株式会社、3日本航空健康保険組合

健康診断は、健康の維持や疾患の予防・早期発見に有効である。しかし、 エクオールとは? 婦人科検診の受診率は低水準にとどまっている。原因としては、知識不足 による関心の低さがあると考えた。そこで、本研究では、女性ホルモンと健 康に関するリテラシー向上により検診受診率を増加できると考え、女性ホ ルモンと健康について学ぶきっかけ作りとして、尿中エクオール検査キット 「ソイチェック®」を用いた受診率向上プログラムを実施した。

イソフラボンの一種であるダイゼインは、特定の腸内細菌によりエストロゲ ン活性のより強いエクオールに代謝される。日本人の43%がエクオール産 生能を持ち、ソイチェック®により産生能を調べることができる。身近な大豆 食品の健康効果に個人差があることや、女性ホルモンと関連する機能性 成分であるため、尿中エクオール検査を受けることにより、女性ホルモンと 健康について学ぶ意欲が高まり、健康意識や婦人科検診の受診意欲を向 上させることができると考えた。



エンカールはティヤ・フンが無の利用国に代達されることによって、フ くられる。エクオールの健康効果としては更年別症状の緩和や骨 密度の低下、肌のシワ改善など多くの研究が行われ効果が期待 される。日本人のエクオール産生者割合は43%である。



RTHのエンオールをお戻すのことにより、エンオールはエい 有無を調べることができる。郵送検査で非侵襲的であるため 自宅で手軽に検査することができる。また結果の通知の際に 冊子などを同梱し、情報を提供することができる。



結果



年代別ソイチェック受験者数

Q3~5 生活習慣状況 03 バランスの良い食事に気をつけていますか?

Q4 適度に運動をしていますか?(週2日以上)

(期間:2015年3月~2016年4月)

Q1 女性特有の症状や悩みなどについて会社で 相談する人はいますか?

Q2 婦人科のかかりつけ医はいらっしゃい ますか?

Q6~9 女性の健康に関する知識と行動

2015年度婦人科検診受診率

Q6「PMS」という単語を知っていますか? Q7 月経周期を記録していますか? Q8 女性ホルモンの働きを 理解していますか?

Q9 基礎体温を記録していますか?



女性特有の健康知識や意識が足りていなかった。

Q10 昨年、婦人科健診を受けなかった理由 年齢的にまだ不要 結果を知るのが抜い 検査が痛そう 面倒くさい (複数用等可) (n=220)

ク®受検者では婦人科検診受診率

時間がない、面倒くさいなど、知識不足に

アンケートの結果から、予想通り健康を気遣う一方で女性ホ ルモンと健康に関する知識が不足している方が多いことが分

ソイチェック®未受検者と受検者の婦人科検診受診率の伸び 率を比較したところ、それぞれ前年比105%と121%であり、受検者 の方がより上昇していた。本プログラムのステップ1~3で知識不 足という課題を克服できたと考える。本プログラムは企業の女性 社員に加え、被扶養者の健診受診率向上にも効果があると期待

また職場や家庭での女性特有の悩みを相談できる相手がい ない方が半数以上といった結果の一方、半数近くの方が婦人科 のかかりつけ医を探しているといった結果であった。

継続的な婦人科検診の受診勧奨を図るとともに身近な生活の 中で、気軽にかかりつけ医を探せる環境を整えていく必要がある。